平成３０年度

学校経営構想

山形市立楯山小学校

国及び県の教育振興計画
重点事項･重点目標

楯山小学校
学校経営構想

山形市教育基本計画
山形市学校教育の重点目標

家庭との連携

○ＰＴＡとの連携・協力
○学習参観・フリー参観の定期的な開催
○家庭訪問・個別面談の実施
○保護者アンケートの実施
○家庭教育講座、ＰＴＡ研修会の開催

スローガン
『声の響き合う学校』

『学校教育目標』
いのち 夢 なかま を
つなぐ 子どもの育成

地域との連携･協力

○地域人材の積極的な活用
○学校情報の公開
　・学校だよりの学区内全戸回覧
○学校行事と地域行事の連携
○地域行事への積極的な参加・協力
○学校施設の地域への開放

めざす子どもの姿

たくましく元気な子ども	手を取り合って助け合う子ども	やさしく心豊かな子ども	学びに向かう子ども
健康でたくましい体	**協働の精神**	**豊かな心**	**確かな学力**
「リズムある健康な生活習慣」の確立	「子ども同士の絆づくり」の推進	「居場所のある学校・学級づくり」の推進	「進んで学習に取り組む子ども」の育成
①いのちを大切にする教育の推進 ・「いのちの教育」の推進 ・「いのちの日」の取組の推進 ②「早寝・早起き・朝ごはん運動」の推進 ・「いきいき健康週間」の取組の推進 ・アウトメディアの取組の充実 ③年間を通した体力づくりの推進 ・運動量を確保した教科体育の充実 ・朝マラソン、縄跳びの取組の充実	①かかわる力を育てる異学年交流活動・児童会活動の充実 ・「清掃・児童会・クラブ等」による異学年間のつながりの日常化 ・「なかよしタイム」での交流の取り組ませ方の工夫 ②対話的な学びを成立させる学級づくりの充実 ・学級自治を育む学級経営の取組の推進 ・「それぞれのよさ」を認め合える心を育む道徳教育の推進 ③あいさつをはじめとするコミュニケーション能力の育成 ・ソーシャルスキルトレーニングや構成的エンカウンターの活用 ・児童会や中学校生徒会と連携したあいさつ運動の推進	①深い児童理解を基本とした子どもに向き合う教育の推進 ・自己をふり返る時間の設定とその充実 ・Ｑ－Ｕテストを活用した学級指導の充実 ②豊かな心を育む学級経営の充実 ・読書活動の充実（必読図書） ・自ら気づき考え行動する態度の育成 ③自己有用感を育む積極的な生徒指導の推進 ・行事や活動を通した学級づくりの充実 ・学校行事でめざす子どもの姿の設定と共有化	①一人一人に寄り添った指導（少人数指導・特別支援教育）の充実 ・ステップアップタイムでの基礎基本の定着 ・たてやまタイムでの個別指導の充実 ②探究型学習（主体的・対話的で深い学び）の推進 ・学校研究による授業改善の推進 ・カリキュラム・マネジメントの作成と教科横断的な指導の充実 ③６年間を見通した学習習慣の定着 ・「学習の手引き」による学習習慣の定着 ・継続的な音読指導の推進

経営の理念

めざす学校の姿・・『声の響き合う学校』
あ：あいさつが響き合う学校
い：いじめのない 全校生が仲の良い学校
う：歌声が響き合う学校
え：笑顔あふれる学校
お：お互いに学び合い 高め合う学校

経営の方針

①子どもたちの明るく元気な声が響き合う学校にする。（学校の姿）
②「すべての子どもを全職員で」をモットーに指導する。（教師の姿）
③補い合い、助け合い、チームワークのいい職員組織にする。（職員組織）
④最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意を持って、組織で対応する。（危機管理）
⑤家庭・地域とのコミュニケーションを密にして、一体となって子どもを育てる。（開かれた学校）